

# 北海道本別町

平成十四年度全国生涯学習市町村協議会助成対象事業

## 全国生涯学習まちづくりフォーラム本別大会

よりすこやかに、よりかしこく、よりたのしく、よりやさしく

町民二五〇人が

スタッフとして活躍

平成十四年十一月三十日から十二月一日の二日間、「全国生涯学習まちづくりフォーラム本別大会」が、生涯学習推進委員など二五〇人を超える町民のスタッフの主体的な企画・運営により開催されました。大会はこれまで単独で開催されていた「婦人まつり」「消費生活展」「健康まつり」を同時開催し、町内外から二日間二千人の人々が参加いたしました。



千葉絃子さんによる記念講演

大人が感性豊かな生き方で  
手本を示すべき

—— 非行少女との会話から ——

記念講演で講師の千葉絃子さんは、篤志面接委員として少年院で個人面接などの活動を続け、非行を犯して収容された少女たちとの会話の中から、非行を生む要因として、放任家庭 厳格すぎる家庭 でき愛しすぎる家庭などがあると分析。更生のためには「本人が気づいて初めて変わる。信頼と感性が心を開くかき」とし、そのためには周囲の配慮と「大人が感性豊かな生き方で手本を示すべき」と訴えました。講演終了後には持ち歌の「折鶴」「扉を開けて」等を熱唱し盛大な拍手を浴びました。

まちづくりは人づくり

大会のメインでありますパネル討議は、テーマを「町民が主役のまちづくり」と題して開催され、パネリストの千歳市ふるさとポケット市民事務局の三上禮子氏は、「まちづくりにはネッ



パネル討議の様様

トワークづくりが必要。行政と住民が共に主体的になり、みんなで課題を解決しなければならぬ。まちづくりにおしまいはない」同じく、パネリストの前八潮市長藤波彰氏は、「地元に関心があった市民に目を向けてもらうため、生涯学習で人づくり、まちづくりを進め、平成三年に生涯学習都市宣言をした。遊びの中にも学習はあり、向上心を育てるのが生涯学習だ。まちづくりのためにはやはり人づくりだ」と熱く訴えました。

小さな先生が大活躍

町内中学生で組織するボランティアグループの子ども達がITコーナーの講師として、パソコン操作の指導を担当し、訪れた方々に親切にアドバイスをしておりました。また、大会会場の玄関で来場する方々一人ひとりに大きな声で挨拶しプログラムなどを手渡す姿は、来場者、関係者に感動を与えるものでした。



ITコーナーの講師を務める町内中学生

これからが大切

大会を開催するため生涯学習推進委員をはじめ多くの町民の皆さんと共に考え、共に汗をかくことが出来ました。また、大会を通じ多くの課題も見つかりました。今後とも町民の皆さんと共に学びながら一つひとつ解決して参ります。

(北海道本別町政策室 主査 大橋堅次)